偶数・奇数・連続する数を 選ぶ ドリル①

中2／ドリル 項目7 ①（選ぶ）／目標 10分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・「文字式による説明」の 問題。 大問1・3は、正しい ものを ○で かこむ（1つ だけ）。
・大問2は、あてはまる ものを すべて 選んで、記号を 1つの 四角に まとめて 書く（例 ア、ウ）。文字は すべて 整数を 表す。

大問1 文字の 式で 正しく 表した ものを ○で かこむ

(1) 奇数を、整数 m を 使って 表す

m＋1　2m＋1　3m＋1

(2) 連続する 3つの 整数を、いちばん 小さい 整数を p として、小さい 順に 表す

p、p＋2、p＋4　p、2p、3p　p、p＋1、p＋2

(3) 連続する 2つの 偶数を、いちばん 小さい 偶数を 2n として、小さい 順に 表す

2n、2n＋2　2n、2n＋1　n、n＋2

(4) 2つの 偶数を、整数 c、d を 使って 表す

2c、2c　2c、2c＋2　2c、2d

(5) 3つの 奇数を、整数 a、b、c を 使って 表す

2a＋1、2a＋1、2a＋1　2a＋1、2b＋1、2c＋1

2a＋1、2b＋1、2b＋1

(6) 十の位の 数を a、一の位の 数を b として、十の位と 一の位を 入れかえた 数を 表す

10b＋a　10a＋b　ba

大問2 つねに そうなる 式を すべて 選ぶ

(1) n は 整数。つねに 奇数に なる 式を すべて 選ぶ

ア 2n＋1　イ n＋1　ウ 4n＋3　エ 3n

オ 2n−5　カ 2(n＋3)＋1　キ 5n＋2　ク n＋(n＋2)

(2) m、n は 整数。つねに 3の 倍数に なる 式を すべて 選ぶ

ア m＋3　イ 3m＋3n　ウ 3m＋1　エ 6n＋3

オ 3(m＋1)　カ 9m＋n　キ m＋2m　ク m＋n＋3

大問3 説明の 結びを ○で かこむ

(1) p＋(p＋1)＋(p＋2)＋(p＋3)＋(p＋4) ＝ 5(p＋2)。5の 倍数と 言える 理由は どれ

5が かけて あるから　p＋2 は 整数 だから　p が 5 の 倍数 だから

(2) (2c＋1)＋(2d＋1) ＝ 2(c＋d＋1)。c＋d＋1 は 整数 だから、和は □ である

偶数　奇数　4の 倍数

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「式の計算」のプリント一覧がひらきます

偶数・奇数・連続する数を 選ぶ ドリル①【こたえ】

中2／ドリル 項目7 ①（選ぶ）／目標 10分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 文字の 式で 正しく 表した ものを ○で かこむ

(1) 奇数を、整数 m を 使って 表す

m＋1　**2m＋1**　3m＋1

(2) 連続する 3つの 整数を、いちばん 小さい 整数を p として、小さい 順に 表す

p、p＋2、p＋4　p、2p、3p　**p、p＋1、p＋2**

(3) 連続する 2つの 偶数を、いちばん 小さい 偶数を 2n として、小さい 順に 表す

2n、2n＋2　2n、2n＋1　n、n＋2

(4) 2つの 偶数を、整数 c、d を 使って 表す

2c、2c　2c、2c＋2　**2c、2d**

(5) 3つの 奇数を、整数 a、b、c を 使って 表す

2a＋1、2a＋1、2a＋1　**2a＋1、2b＋1、2c＋1**

2a＋1、2b＋1、2b＋1

(6) 十の位の 数を a、一の位の 数を b として、十の位と 一の位を 入れかえた 数を 表す

10b＋a　10a＋b　ba

大問2 つねに そうなる 式を すべて 選ぶ

(1) n は 整数。つねに 奇数に なる 式を すべて 選ぶ

ア 2n＋1　イ n＋1　ウ 4n＋3　エ 3n

オ 2n−5　カ 2(n＋3)＋1　キ 5n＋2　ク n＋(n＋2)

ア、ウ、オ、カ

(2) m、n は 整数。つねに 3の 倍数に なる 式を すべて 選ぶ

ア m＋3　イ 3m＋3n　ウ 3m＋1　エ 6n＋3

オ 3(m＋1)　カ 9m＋n　キ m＋2m　ク m＋n＋3

イ、エ、オ、キ

大問3 説明の 結びを ○で かこむ

(1) p＋(p＋1)＋(p＋2)＋(p＋3)＋(p＋4) ＝ 5(p＋2)。5の 倍数と 言える 理由は どれ

5が かけて あるから　**p＋2は 整数 だから**　pが5の 倍数 だから

(2) (2c＋1)＋(2d＋1) ＝ 2(c＋d＋1)。c＋d＋1 は 整数 だから、和は □ である

偶数　奇数　4の 倍数

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 正解は (1) 2m＋1 (2) p、p＋1、p＋2 (3) 2n、2n＋2 (4) 2c、2d (5) 2a＋1、2b＋1、2c＋1 (6) 10b＋a。奇数は 2m＋1（m＋1 は m が 1 のとき 偶数）。連続する 偶数は 2n、2n＋2（n、n＋2 は n が 奇数の とき 奇数）。2つ以上の 数は ちがう 文字で 表す（同じ 文字を 使うと 同じ 数に なる）。(6) の 入れかえた 数は 10b＋a。

大問2 (1) は ア、ウ、オ、カ、(2) は イ、エ、オ、キ（順は ちがっても ○）。2n−5 も 2(n−3)＋1 だから 奇数。n＋(n＋2) は 2n＋2 で 偶数。

大問3 正解は (1) p＋2 は 整数 だから (2) 偶数。かっこの 外に 出た 数の 倍数と 結べるのは かっこの 中が 整数の とき。偶数と 結べるのは 2( ) の 形に して、かっこの 中が 整数と 言えるとき。